

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	8,740,331千円	1,023,999千円	1,011,856千円	0千円
	総人件費	14,821千円	14,367千円	10,813千円	
	総事業コスト	8,755,152千円	1,038,366千円	1,022,669千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	クリーンセンター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	13	可燃ごみ焼却処理施設管理に要する経費

事務事業名	01 可燃ごみ焼却処理施設維持管理事業	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-					
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-	-							-
	-	実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
総合戦略	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-						
-	-		-	-	-	-	-	-	-	-								
市長公約	-	事業計画	-				-				事業実施コスト	-						
個別計画	-		平成28年度に引き続き、安定的な施設の運転及び維持管理を行う。				平成29年度に引き続き、安定的な施設の運転及び維持管理を行う。					H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	活動実績	-				-				内訳	事業費(A)	8,740,331千円	1,023,999千円	1,011,856千円	0千円		
事業分類	F 施設等維持管理事業		可燃ごみ搬入量：65,253トン (ただし、平成30年2月までの実績)				-					国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	一部委託	成果	-				-				内訳	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	市内から排出された可燃ごみの搬入処理をするのに、焼却施設にて適正に維持管理し安全・安定稼働を行うため。		環境基準を遵守し、可燃ごみ処理施設の維持管理と可燃ごみの処理を適正に行い、市民の公衆衛生に対して重要な役割を果たした。				-					地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	市内から排出された可燃ごみを、クリーンセンターに搬入し焼却施設にて適正に処理する。焼却施設の維持管理を行う。	課題	-				-				内訳	その他特財	646,371千円	659,935千円	581,935千円	0千円		
ISO 14001	H29環境関連性		-				-					一般財源	8,093,960千円	364,064千円	429,921千円	0千円		
	H30環境関連性	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠	人件費(B)	11,158千円	10,813千円	7,259千円				
		有効性	高：成果が向上(高水準を維持)している			有効性	-				正職員	従事割合	1.50人	1.50人	1.00人			
		効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-				時間外勤務	63.54時間	60.00時間	60.00時間				
		総合評価	A：成果を維持して継続実施			総合評価	-			臨時職員等	無	無	無					
										事業コスト(A+B)	8,751,489千円	1,034,812千円	1,019,115千円					
										H31年度当初積算根拠	-							
										H31年度の方向性	-	理由	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	8,740,331千円	1,023,999千円	1,011,856千円	0千円
	総人件費	14,821千円	14,367千円	10,813千円	
	総事業コスト	8,755,152千円	1,038,366千円	1,022,669千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	クリーンセンター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	13	可燃ごみ焼却処理施設管理に要する経費

事務事業名	02	可燃ごみ処理施設の発電・売電事業	指標名	-	指標種別	活動結果指標	指標の概要	年間の発電の余剰電力量計画値を指標としている。				
戦略プラン	-		目標値	H26年度 16,000Kwh	H27年度 16,000Kwh	H28年度 -			H29年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -
	-		実績	15,111Kwh	-	-			-	-	-	-
総合戦略	-		改善目標	H29年度			H30年度					
市長公約	-		事業計画	平成28年度に引き続き、安定的な発電を行い、余剰電力の売電を実施する。			平成29年度に引き続き、安定的な発電を行い、余剰電力の売電を実施する。					
個別計画	-			活動実績	発電電力量 21,413,346kWh 場内使用電力量 8,409,258kWh 売電電力量 13,604,490kWh 売電電力料金 120,481千円 (ただし、平成30年2月までの実績)			-				
根拠法令等	-		成果		可燃ごみ処理施設の安定的な運転及び発電を実施することができた。			-				
事業分類	A 任意的事業			課題	可燃ごみ処理施設の基幹的設備改良工事に係る蒸気タービン発電機更新を実施中のため、平成30年2月から6月まで発電できない。			-				
執行体制	一部委託		事業の進捗状況		未達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	
事業の目的	クリーンセンター焼却炉の余熱を利用して、蒸気を発生させタービン発電機による発電を行う。		評価	有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-			
事業の概要	発電した電力は、クリーンセンター場内で使用し、余剰電力をサミットエナジーへ売電する。平成21年度より長期包括的運営管理委託業務を実施し、余剰電力の売電額の半分を分配金として委託業者へ支払う。			効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-			
ISO 14001	H29 環境関連性	-	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-				
	H30 環境関連性	-	H31年度当初積算根拠			-						
			H31年度の方向性			-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	175,032千円	211,700千円	409,112千円	0千円
	総人件費	7,406千円	7,184千円	7,184千円	
	総事業コスト	182,438千円	218,884千円	416,296千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	クリーンセンター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	02	14	粗大・不燃ごみ処理施設管理に要する経費

事務事業名	02	施設から発生した有価物の売却・リサイクル事業	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-					
戦略プラン	-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-								
	-		実績	-	-	-	-	-	-	-	-								
総合戦略	-		改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-						
	-			処理工程の確認を行い適正な運転管理を行う	-				処理工程の確認を行い適正な運転管理を行う。	-									
	-			-				-											
市長公約	-		事業計画	定期的な点検整備を実施していく				定期的な点検整備を実施していく。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初			
個別計画	-											事業費(A)	4,198千円	6,196千円	204,556千円	0千円			
根拠法令等	-											活動実績	-				-		
	-		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円												
	-		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円												
	-		その他特財	4,198千円	6,196千円	82,000千円	0千円												
	-		一般財源	0千円	0千円	122,556千円	0千円												
事業分類	A 任意的事業		成果	-				-				人件費(B)	3,703千円	3,592千円	3,592千円				
執行体制	一部委託											課題	-				-		
事業の目的	・有価物売却収入の増加を図るのに、資源物の回収効率を高めるため。		事業の概要	有価物回収施設(30t/8h), 粗大ごみ破碎処理施設(50t/5h)等の運転管理を委託 有価物の売却・リサイクル ・ビン(白・茶・その他), ペットボトル (財)日本容器包装リサイクル協会へ再商品化を委託 ・アルミ, 鉄類, 紙類, 古布等 3ヶ月毎に入札により, 業者に売却する。				-											
												臨時職員等	無	無	無				
ISO 14001	H29 環境関連性	-		事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠	-						
	H30 環境関連性	-		有効性	-	評価	有効性	-	評価	有効性	-								
				効率性	-							H31年度の方向性	-	理由	-				
				総合評価	-														

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	59,555千円	62,781千円	56,340千円	0千円
	総人件費	7,520千円	7,292千円	7,292千円	
	総事業コスト	67,075千円	70,073千円	63,632千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	クリーンセンター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	02	03	11	し尿処理施設管理に要する経費

事務事業名	01	し尿処理施設維持管理事業			指標名	-				指標種別	-								
戦略プラン	-				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要		-				
	-				実績	-	-	-	-	-	-	-	その他の指標		-				
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	
	-					適正な施設の維持管理				適正な施設の維持管理					事業費(A)	59,555千円	62,781千円	56,340千円	0千円
	-					-				-					国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
市長公約	-				事業計画	-				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
個別計画	-					定期的な点検整備や修繕を実施し、老朽化に対応				定期的な点検整備や修繕を実施し、老朽化に対応				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					-				-				その他特財	2,850千円	2,875千円	2,850千円	0千円	
事業分類	F 施設等維持管理事業				活動実績	-				-				一般財源	56,705千円	59,906千円	53,490千円	0千円	
執行体制	一部委託					-				-				人件費(B)	7,520千円	7,292千円	7,292千円		
事業の目的	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、市民の健康で快適な生活を確保するため。				成果	- 処理量9,700.6kl, (生し尿977.9kl, 浄化槽汚泥8,722.7kl) (ただし、平成30年2月末現在)				-				正職員	従事割合	1.00人	1.00人	1.00人	
	-					-				-				時間外勤務	73.00時間	73.00時間	73.00時間		
事業の概要	- し尿処理施設の維持管理 - 処理能力: 50kl - 処理方式: 好気性消化処理方式				課題	し尿処理施設周辺に対する悪臭防止や処理水質の下水道水質基準を遵守しながら、し尿処理施設の維持管理とし尿処理を適正に行った。				-				臨時職員等	無	無	-		
	-					処理施設の老朽化に伴う処理能力の低下				-				事業コスト(A+B)	67,075千円	70,073千円	63,632千円		
ISO 14001	H29 環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠	-					
	H30 環境関連性	-			有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-				H31年度の方向性	-	理由	-		
	-				効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-					-				
-				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			-							

